

息子の嫁がきっかけで

布施キリスト集会 岡本安司

初めまして。大阪にある布施キリスト集会の岡本安司です。私がベトナムと関わった理由を少し紹介します。

私の息子は、日本は、すべて満たされているので面白くないと大学を卒業した後、アメリカに留学し就職しました。最初は韓国、次にタイに勤務した時、ベトナムにある日本企業に誘われ、首都ハノイの会社に就職しました。会社の近くに住んでいた時、同じ会社で働くベトナム人の若い女性が日本語を教えてほしいと息子の家に来ました。日本語ができれば、もっと給料の良い日本の会社に勤めることができます。彼女は、とても真面目な性格で親思いです。独学で日本語能力試験N3を取得しましたが、それでは不十分です。息子は、日本留学を勧めましたが、彼女の家は貧しく留学などできません。息子は、留学の費用を出してあげることにしました。また息子は、私の家にホームステイをさせてほしいと言ってきました。初めは戸惑いましたが、教会に出席することを条件に許可しました。彼女は、わずか1年間でN1に合格し帰国しました。帰国後、二人が結婚したいと言ってきました。初めは反対しましたが、神さまに任せました。

息子は、クリスチャンですが、ベトナムは外国人が集える教会が少ないです。それで息子はインターナショナルチャーチに集っています。そのインターナショナルチャーチをきっかけとして息子から大塩さんを知りました。大塩さんも息子と同じようにベトナム人の奥さんがおり、ホーチミンの教会に集っています。

大塩さんから日本にいるベトナム人のために協力してほしいと頼まれました。私は、現在ネパール人のためのNP O法人BFNの理事を務めています。ベトナム人もネパール人も日本に多く在住しています。労働環境の劣悪さも知っています。在日ベトナム人の寂しさや苦しみを思う時、神さまの愛と救いを届けたく、この働きに参加させていただきました。

よろしくお願ひします。

初めてのベトナム人

日本バプテスト小倉キリスト教会 大庭博子

私にとっての初めてのベトナム人は、ヤンちゃんです。彼女は2013年に不思議な主の導きによって日本バプテスト小倉キリスト教会を探しあてて来ました。当時彼女は日本語学校の学生でしたが、全く会話のできない日本語力で辞書を片手に英語を交えながら話しました。そうしているうちに堰を切ったように泣き出したのでした。それだけ抱えていたものがあつたのです。主にある兄弟姉妹の中でこらえていたものが一気に溢れ出た感じでした。その後彼女は私の家にホームステイし、私たちは教会生活を共にするという恵みに与りました。

彼女はクリスチャンで自分から門をたたいて教会へ来ましたが、大半のベトナム人はそうではないでしょう。まずはVBTJの存在、ベトナム語聖書がある教会の存在を知ってもらうことです。今年6月には、近隣教会に呼びかけ、大塩さんをお招きして富野バプテスト教会で、集会「日本にいるベトナム人の救いのために」を実現することができました。

思考回路や文化背景が異なる人たちとの交わりには最初はいろいろな誤解や思いの違いが生じます。しかしながら、私たちの真ん中にイエス様がいらっしゃるならそのような問題は必ずや解決されるものだと思ひます。実際ヤンちゃんともそんな行き違ひを重ねてきました。そして、そのことが今の信頼関係を作り上げていったのです。ヤンちゃんも語学学校から短大へ、そして日本語能力検定2級を取得し、2017年に帰国しました。今はホーチミンで日本企業の社員となつて活躍しています。昨秋、そのヤンちゃんを訪問したことがきっかけとなつてVBTJの大塩さんとの出会いが与えられました。神様のなさることは、私たちの思いをはるかに超えた方向へとつながり、広がっていきます。

いただいた恵みに感謝し、北九州で協力教会のネットワークを構築し、ベトナム人一人ひとりと、ヤンちゃんのような関係を育んでいきたいと思ひます。